

令和元年11月 1日



担当課	文化振興課
担当者	宮脇・辻瀬
電話	(073) 435-1194
内線	3026

令和元年度 和歌山市文化表彰について

令和元年度和歌山市文化表彰の受賞者が決まりましたので、お知らせします。

1 趣 旨

本市文化の向上発展に特に顕著な功績のある個人又は団体に対し表彰を行います。

- (1) 文化賞 文化の向上発展に特に顕著な業績を残したと認められる者
- (2) 文化功労賞 文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である者
- (3) 文化奨励賞 すぐれた文化の創造又は普及活動を続け、市民の文化向上に寄与している者

2 受賞者

和歌山市文化表彰選考委員会での選考を経て、別紙のとおり各賞の受賞者を決定しました。

- (1) 文化賞 1人
- (2) 文化功労賞 2人
- (3) 文化奨励賞 1人、1団体

3 表彰式

- (1) 日 時 令和元年11月20日(水) 午前10時から11時まで(予定)
- (2) 場 所 和歌の浦アート・キューブ 多目的ホール
(和歌山市和歌浦南3丁目10番1号 TEL 073-445-1188)

4 賞

表彰状、きしょう 徽章(団体には楯)及び副賞をお贈りします。

5 沿革

昭和57年度から実施しており、本年度で38回目を迎えます。

6 過去受賞者数

文化賞36人、文化功労賞64人・2団体、文化奨励賞34人・24団体 計160

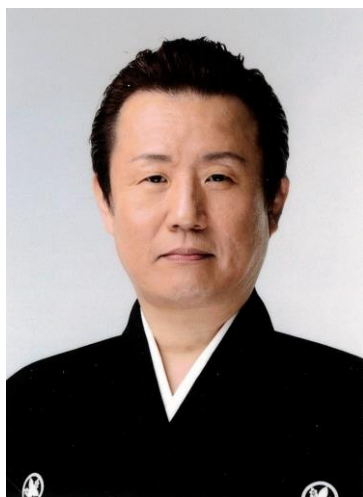
【令和元年度 和歌山市文化表彰 受賞者】



【文化賞】 杉原 治



【文化功労賞】 永廣 禎夫



【文化功労賞】 木乃下 真市



【文化奨励賞（個人）】 前田 和紀



【文化奨励賞（団体）】 玉津島保存会

令和元年度 和歌山市文化表彰(4名1団体)

文化賞(1名)

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
スギハラ イサオ 杉原 治	85歳	和歌山市	合唱指揮者	<p>県立高等学校校長・音楽家教諭、県教育委員会指導主事として勤務し、合唱を指導。平成6年3月定年退職後、財団法人大桑教育文化振興財団前事務局長。</p> <p>県立桐蔭高等学校では、生徒・教員・保護者等総勢300人に及ぶ大合唱とオーケストラとの共演を指導。第1回から11回にわたり指導者を務める。昭和35年から、和歌山市民合唱団の指揮者となり、平成29年11月に開催された記念の第60回定期演奏会において57回目の指揮者を務め上げその功績が認められ名誉指揮者となる。また、和歌山刑務所篤志面接委員の委嘱を受け和歌山刑務所女性合唱団においても指揮者を務める。</p> <p>長きにわたり、教育者として音楽教育に携わり、多数の合唱団を先導し続ける姿勢は音楽文化の振興と向上に多大な功績を残している。</p>

文化功労賞(2名)

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
エヒロ サダオ 永廣 禎夫	82歳	和歌山市	日本文学研究	<p>元公立高校校長 平成5年4月から平成10年3月まで桐蔭高校校長を務め定年退職。その後、奈良文化女子短期大学教授、奈良産業大学情報学部教授を歴任、現在は燦短歌研究会の代表・毎日新聞和歌山面の毎日紀州歌壇の選者を務め、著書も6冊を教える。燦短歌研究会主催のイベントを通じ、万葉の歴史を学ぶ機会を広く一般に提供している。主な受賞歴として、昭和50年度和歌山県教育研究奨励賞受賞、平成9年度文部大臣教育者表彰受賞、平成23年瑞宝小綬章受章。日本の万葉の歴史を深く研究し、本市の歴史文化のけん引役を果たしており、その功績は非常に顕著である。</p>
キノシタ シンイチ 木下 伸市 (木乃下 真市)	54歳	埼玉県 (和歌山市出身)	津軽三味線奏者	<p>昭和57年に、17才でNHK邦楽オーディションに合格。同61・62年に、津軽三味線全国大会に2年連続優勝。</p> <p>様々な分野のミュージシャンとの共演を重ね、国内外で幅広く活動。平成12年、津軽三味線全国大会歴代A級チャンピオン山田千里杯争奪戦が行われ、初代グランドチャンピオンに輝く。</p> <p>津軽三味線奏者としての活動は30年以上に及び、ロンドンや上海、ポルトガル等の各国で海外公演を行うなど、多岐にわたる活動を展開。</p> <p>津軽三味線木乃下流「木乃下三弦会」家元として、後進の育成にも精力的に取り組み、伝統文化の継承と発展に大いに貢献している。</p>

文化奨励賞(1名1団体)

氏名	年齢	現住所	部門	略歴
マエダ カズトシ 前田 和紀	54歳	和歌山市出身	映画プロデューサー	<p>和歌山市出身の映画プロデューサー。</p> <p>2016年 「ちょき」を撮影(和歌山市内でオールロケ)和歌山の温かみがありやわらかい雰囲気を十二分に映画の中で醸しだし、全国に向け美しく温かい和歌山をPRしている。</p> <p>2018年 「ボクはボク、クジラはクジラで、泳いでいる」(太地町・串本町など)では、太地町の魅力を全国に発信、本年撮影・製作された「ソフレ」は御坊・日高地方及び和歌山市でのロケとなる。いずれも和歌山の美しい風景や温かさを表現し地域振興の発展に貢献している。</p>
タマツシマホソンカイ 玉津島保存会	平成24年創立	和歌山市	文化財保護活動	<p>名勝和歌の浦の自然・歴史・文化を守り、その活用と保全を図りながら、後世に継承することを目的に活動している。「名勝和歌の浦クリーンアップ」と題した定期的な清掃活動では、日本遺産に認定された和歌の浦地域一帯の継続的な美化に取り組んでいる。また、「名勝和歌の浦観月会 竹燈夜IN妹背山」や講演会など和歌の浦を中心としたイベントを開催、和歌の浦のさらなる魅力発信に努め地域の文化資源保護のみならず地域活性に寄与している。</p>

※年齢は令和元年10月15日現在のものを記載。